

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成21年12月21日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0895400018		
法人名	有限会社 美野里メディカルサービス		
事業所名	グループホーム もみじ	ユニット名	かえで
所在地	〒311-1537 茨城県鉾田市紅葉1500-2		
自己評価作成日	平成21年7月28日	評価結果 市町村受理日	平成21年12月21日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	まだありません
-----------------	---------

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成21年9月2日	評価確定日	平成21年12月2日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>当ホームはウグイスの鳴く静かな環境に立地しており、顔なじみの関係が築ける2ユニット(18名)となっております。介護の支援におきましては、2つの理念があり「やさしく・しんせつ・ていねいに」「一日の始まりは声かけあいさつから」を実践しております。そして、経験豊富なスタッフがそろっており、入居者様の意思を大切に、出来ることは無理なくやっていただいております。時には入居者様と一緒に取り組み、自分らしく暮らして頂けるよう支援しております。また、母体が病院なので医療面におきましては、すぐに協力や対処が得られ相談しやすい体制が整っており、連携を取りながら心身のケアにあたっております。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>運営母体の病院と連携し通院や往診、緊急時の相談、支援等の対応を実施しており、利用者や家族等が安心して生活できる体制を構築している。</p> <p>利用者や職員は行事やレクリエーション等を通してユニット間で交流し、ゆったりとした雰囲気の中で利用者同士の支え合いや感謝の言葉が聞こえ、ふれあいや挨拶を大切にされた支援をしている。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人全体の理念はすでにあつたが、当ホームの理念をスタッフ全員で作成し、朝礼時復唱し実践につなげている	「一日の始まりは声かけあいさつから」との理念を作成し、朝礼やミーティングを利用して理念を共有するとともに、地域密着型サービスの意義に基づいた支援をしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	入居者の散歩を通して近隣の方達と挨拶し、声かけながら顔なじみになっております。時には外気浴中に近隣の方が立ち寄りお話をしています	中学生の体験学習の受け入れや演芸ボランティアとの交流、地域の清掃活動に参加したり散歩や外気浴の際に地域の人々に声をかけるなどで交流している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	納涼祭などのイベントに参加いただきながら、入居者様と触れ合っていたり、ケアや支援などに理解、活かしていただけるよう努めている			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族や地域の方の率直な意見を伺いながら改善や実施現状報告をして支援の向上に努めている	運営推進会議は2ヶ月に1回開催し、ホームの現状や行事等の報告をするとともに改善課題について話し合い、出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市より情報提供などをいただき、解らないときや支援に困った時は担当者に相談していただいている。	市担当者が運営推進会議に出席するほか、市から情報の提供を受けたり事業所の課題を相談するなどで協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	入居者様の意志を大事にし、基本的に外に出たいときは拘束せず外気浴や散歩を一緒に行ったりしているが、玄関の施錠廃止には至っていない	職員は身体拘束の内容や弊害について認識しているが、玄関は施錠しており利用者の自由な暮らしを支援するまでには至っていない。	安全面に配慮しつつ鍵をかけずに自由な暮らしができるよう、利用者一人ひとりの外出の癖や傾向を把握し対応するなど、職員で話し合っ工夫することを期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修など参加し正しい知識を持つように努めている。また常に入居者の心身に注意を払い会話・介護での虐待のないよう見守り、指導に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修など参加し知識を高め活用出来るように努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所前に重要事項説明書と利用契約書を事前にお渡しし、よく読んでいただき理解していただいています。また疑問や不安を随時お聞きし納得をして頂いています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	正面玄関に無記名の意見箱を設けている。ご家族へのお便りなどでも意見や苦情を言いやすいよう雰囲気作りにつとめている。また運営推進委員会では意見をお聞きし改善に努めている	意見箱は設置しているが投函は無い。 家族等の面会時や電話連絡、運営推進会議で家族等からの要望を聞くほか、利用者からは日々の生活の中で話し合い、出た意見を運営に反映している。 広報誌の発行は年2回と少なく、また、金銭管理は年1回の報告となっている。	面会の少ない家族等の意見や要望、不満等が反映できるよう無記名の家族アンケートを実施することを期待する。 利用者の生活ぶりや健康状況、金銭管理の報告をすることにより、家族等からの意見が多く出ることが期待できるので広報誌の発行回数を増やすことが望まれる。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	話しやすい雰囲気作りをして、意見交流しやすいようにしています。話し合いは朝礼・ミーティング時に実施しています	管理者は朝礼やミーティングを利用して職員の意見や要望を聞き運営に活かしている。 職員の異動はなく利用者との馴染みの関係が継続され穏やかな生活を確保している。 行事は職員が交替で担当し、それぞれのアイデアを反映させるとともに利用者の声を取り入れ、家族等や来所者と楽しめる機会を設けている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	従業員の意見や疑問はよく聞き自信を持って仕事に従事できるよう努めています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々の入居者に対して、研修で受けた知識や技術を活用し統一した、より良い介護ができるように朝礼・ミーティングなどで話し合い実施している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム研修会やホーム関連施設の集会に毎月参加し、他施設との交流があり、サービスの向上に取り組んでいる		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に当ホームをご家族と一緒に来苑していただき、時間をかけ傾聴し、安心して話せる雰囲気作りに努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前より、ご本人・ご家族には時間を充分にとり要望・不安をお聞きし安心していただけるよう努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人・ご家族の要望を踏まえながら、必要な支援かどうかを、スタッフ・上司と相談しながら見極めています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩として学んだり支えあう関係づくりに努めながら過ごしております		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	相談や協力していただいて、ご本人を支えていただいております。経過や結果の連絡の中で、喜びをともに分かち合っております		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	電話の取り次ぎや面会時には気を使わず、また来ていただけるような声かけや雰囲気作りをしています	利用者が自由に利用できる公衆電話を設置したり、馴染みの方へ手紙の代筆や投函、電話の取り次ぎ、地域の美容院の継続利用など、利用者の馴染みの人々との関係継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の趣味・相性などふまえて関わりがもてるよう、日常生活の中で常に目配りし孤立しないよう努めています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	移転なさるご利用者様の健康状態・支援経過・習慣・好みなどの情報を提供し、疑問や相談があれば気軽に話せるように声かけををしています。また、その後訪問して下さるご家族には、お話を伺い、ご利用者様と一緒に過ごしていただいております		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人よりお聞きしたり、時には日常会話・生活歴から本人の思いを知るようにし、出来る限り近づけられるように努めています	職員は家族等の面会時に話を聞いたり、日々のかかわりの中で会話を楽しめる時間をつくり、表情や言葉から一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個々の、生活環境や生活歴など尊重し、馴染みの暮らしができるよう努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の関わりの中から心身状態の把握に努めている。新たな発見・有効な支援や不安な事など毎日の朝礼にて情報の共有に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	一定期間の見直しを行っている。また状況・状態の変化に応じてのプランの見直しや、新たにご本人・ご家族のご希望があれば、出来る限り支援に反映させるようしています。	介護計画は利用者や家族等の意見や希望を反映させるとともに関係者と話し合い作成している。 また、サービス担当者会議で定期的な見直しや随時の見直しを行い、現状に即した介護計画を作成している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の日常生活の様子や会話・提案や新たな気付・状態の変化など記録し、プランの見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族の要望があれば出来る限り対応出来るようにしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者が楽しんでいただけるよう演芸のボランティア、また、中学生体験学習の受け入れもしています。災害・火災発生時は地元の協力が得られる体制が整っています		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当ホームの母体は病院なので適切な医療がすぐに受けられます。または、ご希望の病院があれば、心身状態の情報提供や相談、指示をいただきながら連携をとっています。	運営母体の病院からの往診や通院、かかりつけ医の受診など、利用者や家族等の希望にそった受診支援をしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問診察または外来時、日頃の状態観察の変化を報告・相談し、医師や看護職の適切な指示を頂きながら連携をとっている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	出来るだけ入院先に訪問して、医療関係者やご本人・ご家族と相談し意見交換をしています		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	その都度、ご本人・ご家族の意向を確認しつつ病院との連携を密にして対応をとっています。職員間の情報を共有しチーム支援に取り組んでいます。	利用者や家族等の意向を踏まえ、医師や職員が連携を図り支援しており、運営母体の病院の協力や支援があるため利用者の安心につながっている。 意志確認書を作成しているが利用者や家族等へ説明をしていないほか、マニュアルを作成するまでには至っていない。	重度化や終末期について事業所が対応できる支援を利用者や家族等に説明するとともに、関係者で話し合い方針の共有を図るほか、マニュアルを作成することを期待する。
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	急変や事故発生時のマニュアルを作成し病院と連携をとりながら対応をしている。今後初期対応の訓練においては、消防訓練時にとりいれたい。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	定期的な火災訓練や、予告なしの訓練などを行いながら、職員全体が入居者様の安全避難の意識づけをしております。また緊急発生時には、区長さんを始め、地元の消防団の協力が得られる体制が整っています	消防署指導による火災訓練やホーム独自の避難訓練を定期的実施している。 災害時には消防団の協力が得られる体制になっているが、災害訓練時に地域住民の協力を得たり、災害時に備えて食糧や飲料水を備蓄するまでには至っていない。	地域行事やホーム行事、運営推進会議、地区の集まりなどを利用し、災害時におけるホームの役割等について話し合うほか、災害訓練時に地域住民の参加協力を得たり、災害に備えて食糧や飲料水を備蓄する取り組みを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	理念の1つである「一日の始まりは声かけ・あいさつから」にもあるように、入居者の人格保持やほこりやプライバシー確保が持てるような言葉かけを大切にしている	職員はプライバシーを損ねない支援を理解しており、挨拶や言葉かけを通して自己決定を促し、利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを大切に支援している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自分らしく生きるためにも、日常的な関わりの中から希望や願いを意図的に引き出しとりくんでいる。また、その方の「つぶやき」を大切にしています			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の入居者様のペースにあわせ無理強いせず、希望にそった暮らしが出来るようにしています。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご家族様の協力のもと、ご本人の希望や好みに出来るだけ近づけるよう支援しています。また、理美容として2ヶ月に1回、髪をお好みに合わせてカットを実施しています			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	楽しみが持てるよう、ご本人・ご家族にお聞きし、イベントなどの献立に希望のメニューをおりこんでいます。また、季節を感じていただくため、地元の季節野菜の下ごしらえや食事の片付けを無理ないよう手伝って頂いている。スタッフ一緒にの食事でも楽しい雰囲気作りに努めている。	利用者と職員と一緒に食事をし、和やかな雰囲気のなかで利用者同士が支えあったり感謝の言葉が聞こえている。 配膳や後片づけなどは利用者の好みや能力を活かし職員と一緒にしている。 食材は運営母体の病院まで職員が取りに行き、栄養士が立てた献立に基づき食事を作っている。 運営推進会議時に利用者と共に年2回試食会を実施し、出た意見を取り入れた食事を提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士によるバランスのとれたメニューを食べやすく調理し、食事は見守りをしながら職員と一緒にしています。一日の食事や水分摂取量・体重などチェックし情報の共有化をして体調把握をしています。また、食事・水分がとれていない方には嗜好品などとり入れたりしながら工夫して支援をしております		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食前にうがい、食後に歯磨き又はうがいと声かけをし、見守りと介助の口腔支援をしています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	おむつ使用を減らすために、個々の排泄パターンに合わせトイレ誘導を行っています。状況や体調に合わせてPトイレを使用したり、必ず声かけをして尿意・便意の意識付けをしながら、排泄の自立にむけた支援を行っています	職員は利用者一人ひとりの排泄パターンを把握したり、利用者の様子からサインを察知し言葉かけや身体機能に応じたトイレでの排泄支援をしている。 リハビリパンツは利用者が排泄の感覚を把握しにくいため綿パンツに変えるなど、利用者一人ひとりに応じた支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の排便の有無を確認をしています。また、水分補給・適度な運動・食物繊維などの調理工夫などにつとめ便秘の予防に努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴の回数や時間帯に関してはご希望に合わせての支援までにはいたってはおりませんが、個々のペースに合わせて楽しんでいただく雰囲気づくりをしております。また、入浴の拒否があった時は無理強いせずに時間や日にちを変えながら声かけをして、楽しんで頂けるように支援しています	入浴はホームの都合で週2回午前中と決まっており、利用者や家族等の希望やタイミングに合わせた支援をするまでには至っていない。 入浴を拒む利用者には入浴時間や曜日を変更したり、シャワー浴や清拭などで支援している。	利用者一人ひとりの希望やタイミングに合わせた入浴ができるよう、利用者や家族等へのアンケートの実施や運営推進会議などで検討することを期待する。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	消灯時間はありますが、個々の希望の時間帯に就寝していただいています。その夜の睡眠状態などの情報を日勤と共用し、本人の生活習慣や活動状況・ストレスなど総合的に把握しながら支援しております		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬に関しては職員が確認しながらお渡しし、服薬の見届けを行っています。日頃の状態・変化・経過など医師と連携をとり、服薬の調整に活かしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の役割や得意なことを活かし達成感が得られるように支援しています。嗜好品などについては職員やご家族の協力にて支援をしています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	積極的に苑庭や戸外散歩を楽しめるようにしています。また、墓参り・その他のご希望あればご家族と相談して協力をお願いしております	利用者は家族等の協力で墓参りに出かけたり、職員と一緒にホーム周辺の散歩をしているが、ホームには外出に使用できる車が無いので、買い物やドライブ、行事など利用者の希望にそった外出支援をするまでには至っていない。	利用者の気分転換やストレス発散、五感刺激を得る機会として、また、意欲ある生活が継続できるよう、社会資源を活用して利用者一人ひとりの希望にそった外出支援を期待する。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自身で管理できる方には一定額持っていていただいておりますが、他の方は紛失やしまい忘れなどの恐れがあるため預かっております。使う機会あればその都度ご本人にお渡ししています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	公衆電話が設置してあり好きな時にかけるようになってます。電話の取り次ぎや手紙の代筆・ポストの投函をしています		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感が感じられるように花や飾り物を飾ったりしています。全棟共有スペースには各棟共同して作った作品が月ごとに展示してあります。張り合いのある、楽しく過ごせる居心地のいいスペース作りに努めています	玄関や食堂に季節の花が飾られている。 居間に自然の風を取り入れるなどで室温を調整するとともに長椅子やテレビなどを配置し、利用者が居心地良く過ごせるよう配慮している。 和室は利用者同士が寛ぐ場所となっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂やホールは自由な交流の場になっていて、一人になりたい利用者様は廊下のソファでくつろいでおります。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	花を飾ったり写真を貼ったりしてご自分の趣味に合わせております。	居室は小物入れや時計、コップ、歯ブラシ、暦、ぬいぐるみを持ち込んだり、利用者の手作り作品を飾るなど、居心地よく暮らせるよう工夫している。 持ち込みの少ない利用者には、職員が家族等や利用者と話し合い、意向を確認しながらその人らしく居心地のよい居室となるよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの残存能力を見極め、無理のない範囲で自立をめざし暮らせるように工夫しております。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目標達成計画

事業所名 グループホーム もみじ

作成日 平成21年12月15日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策	①災害の時の食料、飲料水の確保 ②災害訓練時に住民の参加協力	①飲料水はすでに確保済み、食料は確保決定となりました ②防災訓練は毎月行っているが、秋の訓練時には区長より消防団・老人会の協力依頼を声かけていただけようになりました	3ヶ月
2	6	玄関の鍵をかけないケア	玄関の鍵をかけず、安全と自由な暮らしの確保	基本的には鍵をかけないケアに努めているが、当初、状況に応じての対応となります	6ヶ月
3	17	入浴を楽しむことが出来る支援	利用者一人ひとりに合わせた入浴の支援	2ユニットの入浴日に、その方のタイミングに合わせて対応をする	1ヶ月
4	6	利用者、家族の意見・希望の反映	①本人、ご家族の不満・要望を反映させる ②金銭管理報告 ③広報誌の発行回数増加	①郵送にて無記名家族アンケートを計画予定 ②1ヶ月～4ヶ月に1回 ③年2回→3回実施計画予定	6ヶ月
5	49	日常的な外出支援	利用者一人ひとりの希望に合わせた外出支援	天気の良い午前中に外気浴・散策などを実施しているが、車を使ってでの外出・買い物は来期よりの実施予定となりました	6ヶ月
6	33	重度化や終末期について方針・対応について	①マニュアル作成と利用者・家族へ説明 ②関係者の方針の共有化	①新規利用者にはあらかじめ文書確認して頂き、現利用者には運営推進委員会や広報にて説明し、その都度対応する。 ②スタッフ間にて方針共有化を図る	6ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。